



四季想「江南春」…………… 1

野菜缶詰の供給・市場動向 I

—輸入依存度、数量で83.7%、金額で68.4%—
…………… 上田廣志 2

野菜缶詰の主要品目である「たけのこ」「アスパラガス」「スイートコーン」「マッシュルーム」「トマト」の5品目にスポットを当てて、その歴史や今日までの供給・市場動向について解説する。95年に国産12.2万トン(509億円)、輸入36.9万トン(439億円)、計49.1万トン(947億円)と史上最多を記録した野菜缶詰は、14年には国産5.8万トン(235億円)、輸入29.8万トン(502億円)で総供給量が35.6万トン(734億円)に減少している。本稿では、「たけのこ」「アスパラガス」について解説し、次号で「スイートコーン」「マッシュルーム」「トマト」について述べる。

企業最前線～経営者に聞く～④⑧

…………… 株式会社葵フーズディナーズ 21

料理人の創業者が喫茶店で作っていたカレーが好評で手売りを開始、これが食品加工業のきっかけとなった。新開発のボンカレーに感銘を受け、工場を立ち上げレトルト食品の製造販売業に参入した。料理人の味は引き継がれ、現在は、ご当地ものや土産もののPB品のOEM供給を行う。

**日本缶詰びん詰レトルト食品協会
理事会の概要**

…………… 23

ニュースファイル(2016年3月)…………… 31

**缶詰見聞・体感録 第65号
事実より真実**

…………… 黒川勇人 35

❖放射路
食品・流通…………… 46

鮭鱒工船だった信濃丸の数奇な一生
～いま日本の海洋力を問う～(全11回)
第5回 大手柄「敵艦見ゆ」の真実
(1904～1905年)

…………… 宇佐美昇三 48

1930年代に北洋で鮭鱒缶詰を製造した工船の代表、信濃丸、その前身は北米航路の華やかな定期船だった。日露戦争では仮装巡洋艦、晩年は引揚船と役割を変えた。本稿は、数奇な船歴を経た「信濃丸」のあとを遡り、日本の海洋力の将来を考える。

ニュース&トピックス…………… 62

こちらケベックNo.241

…………… リシャール・ミッシェル、浜垣有加里 70

**缶詰、びん詰、レトルト食品全国販売データ
2016年3月品目別商品別金額シェア**

…………… 75

缶詰短信…………… 38	日本介護食品協議会コーナー…………… 85
魚肉ソーセージコーナー…………… 55	業界消息…………… 86
缶詰輸入情報…………… 56	研究所だより…………… 90
缶詰輸出情報…………… 58	協会日誌…………… 91
缶詰関連統計情報…………… 60	主任技術者コーナー…………… 93
海外ジャーナル…………… 66	編集後記…………… 94

表紙カット (株)日本出版制作センター
レイアウト 澄田 静